

25春闘最終山場ゾーン突入!!

3月6日に中央本部は第3回交渉を行い、会社の考えが提示されました。会社は、「定期昇給については実施するが、ベアについては昨年並み(平均1800円)程度を目指している」としています。

逼迫する要員自給の中、度重なる自然災害や輪軸問題での挽回輸送・作業に奮闘し、指定公共機関の使命を我々青年部員は果たしてきました。要員が足りない中、働くことは私たちの労働価値は高まりつつあります。社長は、支社長意見交換会挨拶において若年退職者について危機感をようやく覚えた趣旨を述べています。貨物労組青年部は、以前よりこのことについて指摘をしてきました。今25春闘での回答が昨年度同等になれば、今年の退職率2.7%を超えるのは目に見えています。これを回避するのには満額回答と諸要求の完全実施は不可欠です!

これより来週13日の回答指定日に向け、**山場ゾーン**へと入ります。抗議メッセージに書ききれなかった想い、今の生活実態について抗議FAX行動や現場長要請行動を通じて会社へぶつけましょう!!

そして、3月10日には全国統一職場集会に最大限の結集を図り、全国で1000名、**関東地本内で300名**を超える仲間の結集を勝ち取りましょう。

本部檄行動実施!



関東地青は山場を迎えるのにあたり、中央本部交渉団に関東地青常任委員並びに3月3日の関東地本春闘総決起集会に参加された青年部員による檄布を中央本部へ本日渡しました。

**回答指定日まで残された時間は僅か!
青年部は全力で闘いをつくり出そう!**